

議会報告会報告書

開催日時	平成31年1月22日（火）午後3時 終了：午後4時30分
開催場所	市民交流センター 4階 研修室A・B
対象団体	金沢星稜大学 人間科学部スポーツ学科 学生
参加人数	16人
出席議員	村本一則、西川寿夫、宮岸美苗、北嶋章光、永井徹史、中野進
役割分担	司会：中野、議会説明：永井 意見交換 A：西川・宮岸、B：村本・北嶋、C：永井・中野

（意見交換）

（白山市全体）

- 1 白山登山で頂上からの景色がよかった。
- 2 公園の遊具を危険だからと即撤去するのではなく、利用の経過を考慮して必要なものは残してほしい。
- 3 白山市の観光資源にスポーツを取り入れる取り組みとして、フォトロゲイニングに自転車というスポーツを取り入れたら広域の取り組みになるのでは。
- 4 自治体の枠を超えて県全体が関わるスポーツイベントをしたらいいのでは。

（白山市と金沢星稜大学の連携）

- 1 長期休暇中の単発のスポーツイベントだけでなく、長期的に行えるものが白山市でニーズがあればぜひ連携してやっていきたいし、子どもの発達状況の成果を見てみたい。
- 2 楽しみながら継続できるように作成した段ボールの的入れを学童が継続してやってくれているという話を聞いたことがすごく良かった。
- 3 実際に学童へ行き、相手のニーズ調査を行って企画を提案したが、運動レベルを把握していなかったことや子供の落ち着きがなかったことなど戸惑ったところもあり、コミュニケーションの大切さを学んだ。
- 4 学生側に思いや目的があっても子供たちのニーズが合致しないと集客ができない。
- 5 子供たちに楽しさを提供するだけでなく、子供たちが普段から外で遊びたい、体を動かしたいということに繋がるような機会をこれからも提供していきたい。
- 6 子供が遊ぶきっかけづくりや、保護者に子供を遊ばせるきっかけをつくるのが重要だと思う。自分たち大学側が市と協力する場面が多くあればあるほど自分たちが得るものもあるし、白山市の子供たちにとってもいいものになるのでは。
- 7 市と連携して自然を使った体験をふやすことで子供たちが自発的に自分たちの遊びをつくり出せるのでは。

(白山市のスポーツ環境等)

- 1 学校の担任によっては最高学年のクラスを担当することもあり、部活動に出る機会が少なくなっている中で、外部コーチを職として認めることで子供たちが部活動に集中できる環境ができるのでは。
- 2 子供たちがスポーツを知る環境、スポーツを続けていける環境、将来スポーツに携わる職業に就きたいと思っている人がスポーツを続けられる環境づくりが大切では。
- 3 白山市は豊かな自然があふれているので、その環境資源を生かして子供たちだけでなく親世代も巻き込んで遊ぶ機会をつくっていくことが、普段の遊びに繋がっていくのではないかと。

(将来の進路等)

- 1 スポーツをやりながら指導ではなく、スポーツに興味をもってもらえるきっかけづくりをしたい。
- 2 フィットネス系スポーツでトレーニング法を教えていきたい。
- 3 一般企業のスポーツイベントを手がけてみたい
- 4 上海大学で修士を取得してマネジメントに特化した仕事をしたい。

備 考	
-----	--